



# 日本スーパーマーケット協会

## 平成26年3月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	54,507,064 万円	100.0%	109.9% (105.0%)	52,420,865 万円	107.2% (102.4%)
食 料 品	44,895,937 万円	82.4% (83.2%)	109.0% (105.6%)	43,095,946 万円	105.9% (102.7%)
農 産	6,647,043 万円	12.2% (12.6%)	107.7% (106.8%)	6,389,274 万円	104.8% (104.1%)
水 産	4,381,658 万円	8.0% ( 8.0%)	105.5% (104.0%)	4,213,202 万円	102.4% (101.2%)
畜 産	5,156,208 万円	9.5% (10.2%)	111.0% (112.0%)	4,932,982 万円	107.7% (108.8%)
惣 菜	4,576,177 万円	8.4% ( 8.6%)	105.4% (104.8%)	4,373,922 万円	101.7% (101.6%)
日配食品	9,669,729 万円	17.7% (18.4%)	106.8% (106.3%)	9,236,736 万円	103.8% (103.5%)
加工食品	14,465,122 万円	26.6% (25.4%)	112.7% (102.9%)	13,949,830 万円	109.8% (100.2%)
生活関連	4,156,086 万円	7.6% ( 8.7%)	123.1% (104.4%)	4,034,152 万円	121.8% (102.3%)
衣 料 品	1,845,928 万円	3.4% ( 2.7%)	107.4% ( 99.2%)	1,813,441 万円	107.1% ( 99.1%)
そ の 他	3,609,113 万円	6.6% ( 5.4%)	109.4% (100.1%)	3,477,326 万円	109.0% ( 99.7%)

### ② 数 値

全店総売上高	54,507,064 万円	店 舗 数	4,483 店舗
総売場面積	8,699,593.1 m <sup>2</sup>	総従業員数	227,027 人

店舗平均月商	12,158.6 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,918 円 (106.5%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.3 万円 ( 5.6 万円)	平均店舗面積	1,940.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.7 万円 (18.5 万円)	パート比率(前月)	77.2% ( 77.0%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・消費税増税前の駆け込み需要で、加工食品、日用品を中心に伸長した。特に、最終週の売上は大幅に伸長した。全店では、既存店前年比6カ月連続、食品では10カ月連続で超過した
- ・生鮮食品、惣菜、日配食品の売上構成比は2月と比較すると減少も、加工食品の構成比が上昇した
- ・前半は、気温が低く推移し、鍋商材の動きが良かった

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・野菜は、土物（玉ねぎ・じゃがいも）の売上が好調に推移した。既存店前年比9カ月連続で超過した
- ・果物は、みかん、いちご、バナナの動向が良かった

### ○ 水産

- ・前年と比較すると、鮭、エビ、マグロ、タコなど相場上昇傾向も、大衆魚中心に切り身、刺身などの動きが好調に推移しカバーした。既存店前年比2カ月連続で超過した
- ・塩干では、塩銀鮭の相場高騰も単価アップが図れ、売上も好調に推移した。また、後半では干物や冷凍のフライや切り身の動きも好調だった

### ○ 畜産

- ・精肉では各畜種共に好調を維持した。中でも、豚肉は生姜焼き用途で伸長した。鶏肉は、もも肉を中心に動向が良く、既存店前年比13カ月連続で超過した
- ・前半は気温低下に伴い、牛肉すき焼き用の動向が良かった

### ○ 惣菜

- ・春休み、行楽、お祝いのマーケットを中心にから揚げが好調に推移し、既存店前年比6カ月連続で超過した
- ・前半は、ひな祭りマーケットでちらし寿司の動向が良かった。後半は、弁当、寿司などの動向が良かった

○ 日配・加工食品

- ・豆乳や箱パックの飲料のまとめ買いの動向が良かった。日配品では、既存店前年比6カ月連続で超過した
- ・ヨーグルト、乳酸菌飲料の動きが引き続き好調に推移した
- ・行楽関連の海苔、ふりかけ類、粉類、スナック・ポケット菓子、珍味の動向が良く、加工食品は、既存店前年比2カ月連続で超過した

○ 「ひなまつり」について

- ・ちらし・手巻き寿司商材（まぐろ、海苔、食酢など）の動きが好調に推移した
- ・はまぐりは、国産相場高騰をの影響で価格が上がったこともあり、あさりの動きが良かった
- ・ローストビーフやから揚げ、茶わん蒸しの動きも良かった
- ・ひなあられに大きな動きはなかった

○ 「ホワイトデー、彼岸」について

- ・クッキーやキャンディーなどに大きな動きは見られなかった
- ・天ぷら、煮物、和菓子の動きは好調に推移したもの、花き、おはぎ、半生菓子などの動きが鈍かった

○ 「消費税増税対応」について

- ・食品関連では、調味料（醤油、みりん、料理酒、味噌、さとうなど）、乾物、缶詰、食油、米、酒類、冷凍食品、コーヒー、紅茶、パスタ、即席関連などが大幅に伸長した
- ・生活関連品では、ティッシュ・トイレットペーパー、紙おむつ、キッチンタオル、乾電池、防虫剤、歯磨き、洗剤などの動きが好調に推移した
- ・生鮮品では、加工肉（ハム、ベーコン、ウインナーなど）を中心に、塩鮭、干物などの塩干に加え、フライ、切り身などの冷凍品などの動きも好調だった

以上